

6月 19日 スポーツ協会創立 60 周年を記念して
サッカーイベントを開催



▲サッカーイベントで小学生とのミニゲームに取り組む浅野選手

菰野町スポーツ協会（旧：体育協会）の創立 60 周年を記念して、町出身のサッカー日本代表、浅野拓磨選手（ドイツ、Vfl ボーフム所属）を招き、サッカーイベントとトークイベントを開催しました。町スポーツ協会は、1961 年に創立され、スポーツを通じての交流や各競技の育成と充実を目的に活動し、町民を対象とした各種スポーツ大会を開催しています。創立 60 周年記念のサッカーイベントでは、大羽根サッカー場でサッカーチーム所属の小学 5、6 年生を対象にサッカー教室を開催し、浅野選手とのパス練習やシュート練習を行いました。イベントの最後にはチームに分かれてのミニゲームを浅野選手を交えて行い、参加した子どもたちは、浅野選手のドリブルを必死に追いかけて、間近でプレーを見て、その技術を体感していました。



▲トークイベントで「地元である菰野町は大切な場所」と語る浅野選手

トークイベントでは、町民センターホールに会場を移し、浅野選手のこれまでの経歴を振り返りながら、自身のもつ「夢」について語りました。イベントの最後には「僕にとってワールドカップは人生の全て。次回のワールドカップに出られるように頑張ります」と出場への抱負を語り、これからのさらなる活躍を誓いました。

5月 8日・15日・22日 芸術文化に直接ふれてみよう
芸術文化体験会を開催



▲鬼神衆の皆さんから熱のこもった指導を受ける参加者たち

子ども、大人問わず芸術文化活動を体験してもらおうことを目的に芸術文化体験会を 3 回にわたって開催しました。体験会では、それぞれ芸術文化協会の会員が講師となり、フォークダンス、よさこい、和太鼓、津軽三味線といった芸術文化活動を体験してもらいました。参加者は実際に演奏や踊りに参加することで、これまでとは違った視点で芸術文化活動を楽しみ、それぞれの活動に理解を深めました。



▲参加者とともに踊るよさこい和楽の皆さん

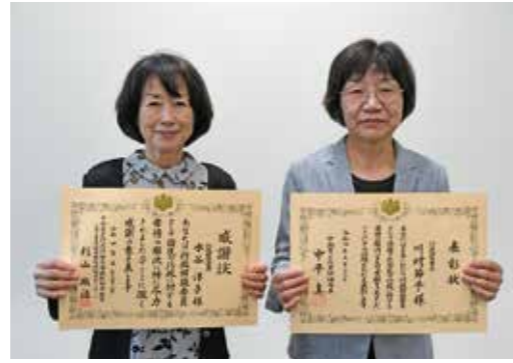
5月 23日 6月 5日から 6月 11日は危険物安全週間
特別消防訓練を実施



▲訓練の最後に行われた一斉放水

大 強原区の一宮運輸(株)関西支社物流センター三重で特別消防訓練が実施されました。これは化学薬品やガソリンなどの危険物に対する保安意識を高めるとともに、関係者や消防職員の火災対応技術の向上を図ることを目的に実施され、消防職員、消防団員など約 40 人が参加しました。訓練では危険物の消火活動のほか、従業員の初期消火訓練も行われました。

5月 31日 行政全般への意見を受け付ける
行政相談委員を表彰



▲表彰状を受け取った川村さん（写真右）と水谷さん（写真左）

行政相談委員として川村節子さん（下村）が総務省中部管区行政評価局長表彰を受賞しました。また、行政相談委員の水谷洋子さん（竹成）が総務省三重行政監視行政相談センター所長から感謝状を受領しました。行政相談委員は、行政全般への苦情や意見、要望を受け付け、それらを解決、実現するよう活動いただいております。川村さんは同委員を 11 年間、水谷さんは 3 年間、務めていただいたことを受け、今回の受賞となりました。

2 人の人権擁護委員を委嘱

人権擁護委員を紹介



松岡佳代子さん
竹成



横山信樹さん
潤田

人権擁護委員として松岡佳代子さん（竹成）、横山信樹さん（潤田）が法務大臣から委嘱されました。松岡さんは、前任の服部友恵さん（永井）が退任されることによる新任で、横山さんは再任となりました。人権擁護委員は、人権尊重思想の普及活動や地域での人権問題解決に向けて相談に乗ったり、支援したりすることを主な活動とするボランティアで、菰野町では現在 7 人の委員にお世話になっています。

5月 28日 1年に2回 春と秋に開催
ウォーキング大会を開催



▲役場本庁からスタートした参加者の皆さん

世代を問わずたくさんの方にウォーキングを楽しんでもらおうと春のウォーキング大会を開催しました。約 100 人の参加者は自身の体力に合わせてロング 10 ㎞、ショート 5 ㎞のどちらかを選択し、役場本庁からスタートしました。三滝川河川敷から大羽根園やきらら湖などのコースを巡り、自らのペースでゴールの役場本庁へと戻ってきていました。

5月 29日 出水期に備えて年に一度の訓練
水防訓練を実施



▲2人で協力して土のうを作成する参加者

三滝川左岸の河川敷で水防訓練を実施しました。3年ぶりの開催となった今回、参加者数を縮小して区の代表者、消防団員、町職員、消防職員ら約 200 人が参加しました。雲ひとつない晴天となった当日、参加者は額に汗を流しながら土のう約 1,000 個を作成し、その後、消防職員による簡易積み土のう工法について実演を交えた説明が行われました。作成した土のうは、各区に持ち帰り、大雨の際の浸水対策に有効活用される予定です。

